



かすりすと

十八模様は久留米かすりのシンボルとしてあらゆるシーンに活用していきます。

かすりすとの集い(交流会)開催!

久留米絣ファンクラブ「かすりすと」の交流会を開催いたします。かすりファンクラブ「かすりすと」が誕生して早6年を経過しました。その間、数々のワークショップ、かすりの小径まつり、織元バスハイク等々様々なファン参加型イベントを開催して参りました。その原点とも言える「かすりすとの集い」は久留米絣応援団の皆さんに一堂に会して親睦をはかり、かすりにまつわる情報を交換していただくイベントです。久留米絣をテーマにひとときを和気あいあいと楽しんでいただこうと考えています。年に一度の交流会、是非ご参加下さい。

- ◆開催日/平成23年11月19日(土)
- ◆開催時間/17時から21時まで
- ◆タイムスケジュール/
 - ・17時～ 久留米絣展示販売会
 - ・18時30分～ 交流会受付
 - ・19時～21時 交流会「かすりすとの集い」(ビュッフェスタイル食事)

主なイベント

- 久留米絣工芸作家とのトークショー
松枝哲哉氏(田主丸)、山村健(広川)両氏を迎え、伝統工芸としての久留米絣の技術や伝承など日頃聴けない興味深いお話を交え、かすりすとの皆さんとの交流トークショーです。
- 久留米絣織元作品展示コーナー
■プロカメラマンによる写真撮影会
貸し出し用の着物(先着予約20名様)やご自慢の絣を着て、記念撮影。絣のきもの思い出の一枚に。
(着物・着付け500円・写真撮影費200円)
- ベストかすりすと賞表彰(素敵な賞品をご用意してます)
- お楽しみ抽選会
- 絣商品販売コーナー

◆開催場所/ホテルニュープラザKURUME
(2Fレジェンドの間)

◆参加費/4,000円(食事代含む)

◆申込方法/お電話にて先着100名様受付
(会員さん以外も参加可)
9月12日より受付開始
(受付時間10時～17時)

お問い合わせ・お申し込み

地場産くるめ

TEL.0942-44-3700 FAX.0942-43-1020

かすりすとの集いへの参加ご希望の方は、お電話でお申し込みください。



山村健氏

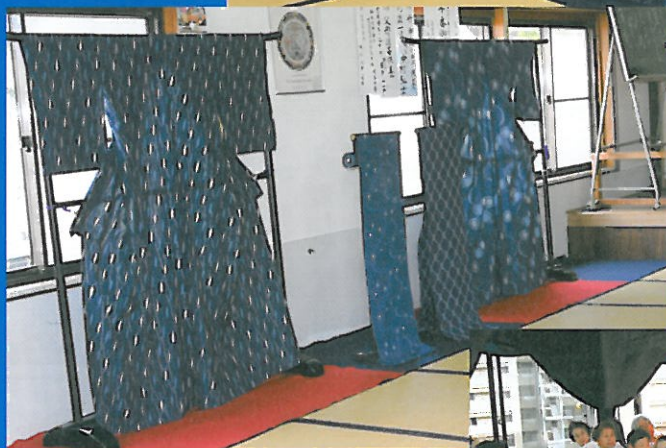


松枝哲哉氏

参加者
募集



※写真作品は当日作品とは異なります。



CONTENTS

1p ・かすりすとの集い参加者募集

2p ・久留米かすり秘話vol10

『新しい久留米絣を目指して・藍の魅力に新たな息吹を』

3p ・かすりすとバスハイク報告
・第21回広川かすり祭

4p ・筑後SAKEフェスタ開催
・絣織元登場 筑紫ゆうき製造元 久保敬昭織物工場
・地場産くるめ SHOP INFORMATION

シリーズ

久留米かすり秘話

VOL.10

『新しい久留米絣を目指して・藍の魅力に新たな息吹を』

藍の葉を発酵させて染められた糸。それを丹念に織った藍色の久留米絣。その深い藍色には植物と微生物の自然の営みが輝く。

久留米絣工芸家の松枝哲哉さんは久留米絣と関わって三十二年。水が澄んで自然豊かな田主丸の『藍生庵』にて、久留米絣を今に伝える。

「藍は植物なので様々な色を含んでおり、化学染料にはない深みが出ます。染めた糸のくびりを解いて織っていくと、グラデーションができて何ともいえません。既製のプリントでは出せない藍と絣のマッチングです」

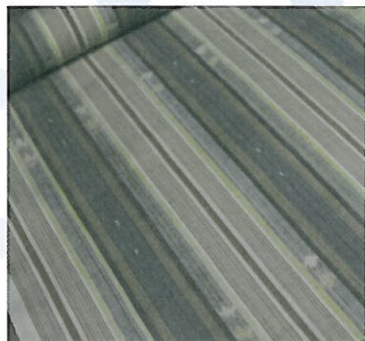
糸一本の力と藍の力で、やさしい久留米絣が出来上がっていく。それは、長い年月経って単に色が薄まっていくのではなく、そ

れぞれの過程で美しい色合いを放つのだ。

季節感溢れる自然と時代を感じる感性

柄や色合いの多くは『藍生庵』の自然をモチーフに生み出されている。

「同じ竹林でも雨の日、雪の日、季節によって色の濃い時もあれば薄い時もあります。竹をたたっている雫が光るだけでも美し



藍染と草木染の融合

い。そんな感動をモチーフに、一つ、模様を引き立たせる色合いを考えながら染めています」

五感を大事にする松枝さんは、時代にも感性を響かせる。

「自分の感性をいかに養っていくかが重要です。伝統工芸は同じものを作っているはためなんです。常にその時代に要求されるものをつくらなければ。そのため

には歴史を知り、いろんな知識が大事です。幾何学模様一つを取っても長い歴史の中で淘汰されてきたもの。その時代にどういった

ものがあつたのかなと思いを馳せることで全体的なものが見えてきます。つまり、昔を知った上で、今のものを取り入れるのです。

そもそも藍の葉を甕の中で発酵させるなんて、先人達がやってきた歴史の重みを感じますよね」

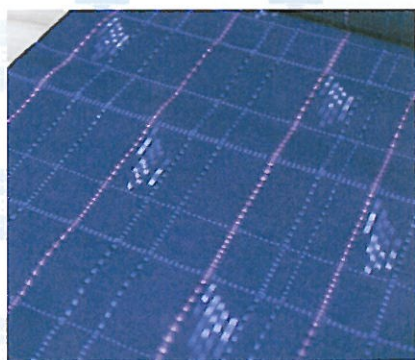
紺屋場から香り立つ『ときの匂い』には、歴史の匂い、瞬間の匂い、藍の匂いがすると松枝さんは話す。

時代の忘れ物

「藍染は何度も染め直しができるので、大切に長く着ていただけます。藍は糸を強化するし、藍菌で人間も守ってくれます。その美しい色は、自分だけではなく周りの人も和ませます。本物はいいものですよ」

小夜子夫人は、藍の魅力をこう話す。まさに藍は、モノをどんなに廃棄している現代の忘れ物かもしれない。

「もつと日本の文化を大切にし



久留米絣の帯地(変化織り) 藍染と紫紺染(むらさき草の根)

てほしい。憧れを持つてほしい」

そう思い続ける松枝さんは、歴史を知り、現代の要求に耳を傾け、久留米絣に新たな息吹を注いでいる。



藍染 椿文

資料提供・取材協力／
藍生庵 松枝哲哉氏、
松枝小夜子氏

かすりすと

かすり織元巡りバスハイク

春の寺町散策と酒・瓦の城島

4月23日(土)午前10時、25名のかすりすとの皆さんは朝の寺町散策をスタートしました。近くに住みながら初めての寺巡りの方も。ボランティアガイドさんの説明を聞きながら寺町を巡り、バスで城島町へ向かいました。比翼鶴酒造では、麴のお話から原料・酒造り・酒の種類など詳しく説明を受けた後、酒蔵見学で大きな貯蔵タンクなどを見せてもらい、最後に種類ごとにお酒の試飲や温かい甘酒をいただきました。昼食は、そば処「十吉」で、緑が目

に美しい庭を眺めながら美味しくいただきました。午後は同じ城島の洪田瓦さんで井芹先

生のご指導のもと、瓦の器を使った寄せ植え体験を楽しんでいただきました。重厚な瓦の寄せ植えを嬉しそうに持ち帰っていらつしやいました。

最後に、広川町の絛織元 山村健さんの工房では、藍染め見学の後、二人一組で向かい合い、卓上織機でコースター作りを体験しました。最初は難しそうでしたが段々と模様が出てくると、二人一組で息の合った作業もまた、楽しそうでした。少々盛りだくさんのスケジュールでしたが、みなさん元気にかすり日和の一日楽しんで家路につかれました。(安岡)



比翼鶴酒造の酒蔵見学



寺町散策



山村健藍染工房にて



城島洪田瓦さんで寄せ植え体験



広川町での卓上織機でのコースターづくり

〈館内と祭広場〉

◆ 広川の伝統工芸と味わい市

久留米餅をはじめ、竹製品、トンボ玉、八女茶、茶飴、手焼きせんべい等の伝統工芸品や特産品、手作り食品等の販売。

◆ 絛手織実演コーナー

〈屋外特設ステージ〉

◆ かすりんぴつく(反物巻き競争)

両日開催/17日12:30~、18日12:00~
優勝商品は久留米餅の反物

◆ お楽しみ抽選会

両日開催/抽選会は1日2回!
久留米餅の反物を始め、
久留米餅製品や地元の特産品等が当たる。

〈別会場/ドンマルク〉

◆ 「第19回 かすりたまご展」

かすり祭り会場より、無料シャトルバスが運行

広川町産業展示会館・ドンマルク(かすりたまご展)までのご案内



※P(駐車場)の場所は都合により変更場合があります。

【車利用の場合】高速広川インターより3分
車は工業団地駐車場へ 無料送迎バスで会場へ

【高速/バス利用の場合】
福岡空港~熊本・荒尾間 広川サービスエリア下車
福岡(天神・博多)~熊本・荒尾間 広川サービスエリア下車
徒歩20分、タクシー5分
蒲池タクシー ☎(0943)32-0511

【西鉄電車利用の場合】久留米駅下車 バスセンター
①番のりばより八女行き(30)(31)番で約25分
建設学校前下車 徒歩約12分

バス停より無料送迎バスで会場へ

【JR利用の場合】久留米駅下車
JR久留米駅バス停より八女行き(30)(31)番で約30分
建設学校前下車 徒歩約12分
バス停より無料送迎バスで会場へ

第21回
広川

かすり祭
こころ優しき匠達の
技と味わいを...

広川の伝統工芸と味わい市

平成23年
9月17日土・18日
時間 午前9時~午後5時まで
会場 広川町産業展示会館
福岡県八女郡広川町大字日吉1164-6



【お問い合わせ】広川町観光協会 かすり祭実行委員会

〒834-0111 福岡県八女郡広川町大字日吉1164-6

TEL 0943-32-5555 FAX 0943-32-5556 <http://www.mfj.co.jp/hirokawa/>

広川町観光協会

検索

この秋、久留米で豊穡の風土に感謝する日本酒のお祭りが始まる

～筑後24蔵約120銘柄の日本酒が一堂に!～

この秋、久留米都心部「東町公園」と「六角堂広場」を中心に筑後地区24蔵元が結束した久留米初のお酒のイベントがあります。

九州新幹線久留米駅開業を期に、筑後の酒を地元をはじめ、県内を中心にもっと親しんでもらおうと開催されます。

24蔵から約120種類の日本酒が出品され地元産の素材を使ったオリジナルの鍋料理やB級ご当地グルメである「久留米やきとり」など久留米ならではの取り合わせでもてなします。



筑後SAKEフェスタ～めざせ世界一～酒・ひと・街に酔いしれる～

とき/2011年10月22日(土)・23日(日)
両日共10:00～17:00 入場無料

ところ/久留米市内
〈東町公園・六角堂広場・中心商店街〉

東町公園会場飲み比べチケット(約120銘柄)
チケットぴあにて発売中 前売1,500円/当日2,000円

(問)筑後SAKEフェスタ事務局(地場産くるめ)
TEL.0942-44-3700



絣織元登場 創くるる



久留米かすり・筑紫ゆうき製造元
久保敬昭織物工場

左より 久保 真理さん
小春ちゃん・葵ちゃん
竜二さん・左知子さん

筑後市大字西牟田3498-2
TEL 工場0942-52-7634



戦後すぐから織物業を営んでいる久保敬昭織物工場。その三代目となる久保竜二さんは家業を引き継いで八年目となる。昨年は竜二さんの反物が全国雑誌にも掲載され、久留米絣の若手後継者として活躍している。現在、家族の他六名の従業員とともに工場を営み、伝統工芸を支えている。

「家を継ぐのではなく、もっと大きな物をつくりたい」最初はそんな思いでゼネコンの仕事について十年。ふと、気づいた。「うちの仕事は貴重な職種。せうかくの伝統工芸を絶やしてはいけない。家を守らなければ。久留米絣を守らなければ、家の大事さに気づいて家業を継いだ。」

「久留米絣の織りを続けていくことが伝統を守ること、だったら柄や風合いは時代に合ったものと考えています。デザインは毎回テーマを持ってつくっており、新たな織り方や糸を取り入れたりしています」

「家を継ぐのではなく、もっと大きな物をつくりたい」最初はそんな思いでゼネコンの仕事について十年。ふと、気づいた。「うちの仕事は貴重な職種。せうかくの伝統工芸を絶やしてはいけない。家を守らなければ。久留米絣を守らなければ、家の大事さに気づいて家業を継いだ。」

「家を継ぐのではなく、もっと大きな物をつくりたい」最初はそんな思いでゼネコンの仕事について十年。ふと、気づいた。「うちの仕事は貴重な職種。せうかくの伝統工芸を絶やしてはいけない。家を守らなければ。久留米絣を守らなければ、家の大事さに気づいて家業を継いだ。」

「家を継ぐのではなく、もっと大きな物をつくりたい」最初はそんな思いでゼネコンの仕事について十年。ふと、気づいた。「うちの仕事は貴重な職種。せうかくの伝統工芸を絶やしてはいけない。家を守らなければ。久留米絣を守らなければ、家の大事さに気づいて家業を継いだ。」

「家を継ぐのではなく、もっと大きな物をつくりたい」最初はそんな思いでゼネコンの仕事について十年。ふと、気づいた。「うちの仕事は貴重な職種。せうかくの伝統工芸を絶やしてはいけない。家を守らなければ。久留米絣を守らなければ、家の大事さに気づいて家業を継いだ。」

「家を継ぐのではなく、もっと大きな物をつくりたい」最初はそんな思いでゼネコンの仕事について十年。ふと、気づいた。「うちの仕事は貴重な職種。せうかくの伝統工芸を絶やしてはいけない。家を守らなければ。久留米絣を守らなければ、家の大事さに気づいて家業を継いだ。」

「家を継ぐのではなく、もっと大きな物をつくりたい」最初はそんな思いでゼネコンの仕事について十年。ふと、気づいた。「うちの仕事は貴重な職種。せうかくの伝統工芸を絶やしてはいけない。家を守らなければ。久留米絣を守らなければ、家の大事さに気づいて家業を継いだ。」



ふるさと、顔張り屋です!
地場産くるめ
財団法人久留米地域地場産業振興センター

地場産くるめ SHOP INFORMATION

地場産くるめショップ



絣を身にまとい 過去から未来へ

節電も手伝って、暑い夏でしたが、これからは過ごしやすいく秋がやって来ます。この季節、絣の着物を着こなし、街歩きをしませんか?背すじがシャンとのびて、心も引きしまりますよ。地場産くるめには反物から仕立て上りの着物まで、準備しております。※仕立て上がり3万円より

TEL. (0942) 44-3700 FAX. (0942) 43-1020

HP. <http://jibasankurume.jp> 営. 10:00～17:00

展示即売場コーナーは地場産くるめ2Fにございます。

毎月11日は「いい日地場産の日」開催!

毎月11日は全品11%OFF (一部商品除く)